

氏名	齋藤恵子	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	母性看護学、助産学、国際看護学				
学位	学士（看護学）、修士（保健医療学）、博士（健康科学）				
学歴	2003年国際医療福祉大学保健医療福祉学研究科博士前期課程修了、2006年国際医療福祉大学保健医療福祉学研究科博士後期課程単位取得満期退学、2020年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科博士後期課程修了				
経歴	2003年埼玉県立大学短期大学部専攻科助産学助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授、2024年埼玉県立大学保健医療福祉学部・大学院保健医療福祉学研究科教授				
所属学会（役職）	日本国際看護学会（理事）、日本母性衛生学会(査読委員)、日本国際保健医療学会、日本助産学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本母性看護学会、日本思春期学会、日本性感染症学会、埼玉県立大学保健医療福祉学会、日本健康学会、日本保健福祉学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	現代の母性看護 概論 第2版	共著	あり	名古屋大学出版会、全215ページ		入山茂美、春名めぐみ、大林陽子編、（担当部分Ⅱ-5 親子関係 p 96-103：齋藤恵子、浅井宏美）	2025.2
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	健やかな妊娠・出産・子育て期を支える『産科スタッフのための やさしい日本語』研修の試みと評価 齋藤 恵子		日本国際看護学会第8回学術集会、大分市		○齋藤恵子、浅井宏美、千葉真希子、森美紀、山口乃生子、林恵津子		2024.10
2	宿泊型産後ケア施設の利用者のニーズと課題		第65回日本母性衛生学会総会・学術集会、宮崎市		○浮田真奈美、齋藤恵子		2024.10
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	健やかな妊娠・出産・子育て期を支える『産科スタッフのためのやさしい日本語』研修プログラム		埼玉県立大学研究開発センターシンポジウム2024、第2部研究紹介		○齋藤恵子、浅井宏美、千葉真希子、森美紀、山口乃生子、林恵津子、森正樹		2025.2
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称		研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	科学研究費助成事業 若手研究		埼玉県在住の移民女性の出産に関する伝統的プラクティスの認識と実践		研究代表者		2020.4-2025.3
2	科学研究費助成事業 基盤研究C		「気がかりな」外国人妊産婦の心理社会的ハイリスクスクリーニング指標の開発		研究分担者		2023.4-2025.3

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	リプロダクティブヘルスと看護		1 コマ	3年次看護学専門科目（選択科目）、助産系履修学生を対象に、グローバルな視点および我が国におけるリプロダクティブヘルスに関する課題について理解し、看護の視点で考察が深められるよう取り組んでいる。授業では文化や慣習と妊娠出産と助産ケアについて検討した。
2	グローバルヘルスと看護	○	7コマ	4年次生看護学専門科目（必修科目）である。グローバルヘルスの現状と課題、多文化共生社会における看護の看護役割と国際活動の実践について理解できることを学習目標として、科目運営を行った。国際支援の必要な幅広い領域の専門家に非常勤講師、ゲストスピーカーとして招聘し、「やさしい日本語」の授業・演習を行った。
3	母性看護学Ⅰ		2コマ	1年次看護学専門科目（必修科目）である。周産期の看護と文化について事例を用いながら理解しやすいように講義した。webclassを活用し、学生の授業参加を取り入れた。
4	母性看護学Ⅱ	○	6コマ	2年生看護学専門科目（必修科目）である。授業では画像・動画・事例を用いて学生が対象をイメージしやすいように工夫した。また、生殖医療と看護では不妊・不育症を授業内に取り入れ、我が国の生殖医療における現状の理解と看護の役割を学ぶ機会となるよう工夫を行った。
5	周産期のケア		1コマ	3年次助産系履修学生を対象に、助産師の法的責務と業務範囲について講義を行った。助産師の業務の根拠となる法について理解できるよう具体例を示しながら説明した。
6	分娩期のケア	○	3コマ	4年次助産系履修学生を対象に、助産師が行う分娩期のケア、分娩の生理、産婦の心理と社会的特徴、家族の心理とケアについて、分娩施設の選択、出産方法の選択、望ましい出産体験のためのケアについて 講義を行った。
7	助産業務管理		1コマ	4年次助産系履修学生を対象に、国家試験出題基準、助産師国家試験対策授業を3名の教員と担当した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	リプロダクティブヘルスと看護		2 コマ	看護学科3年次生に対しリプロダクティブヘルスに関する関心あるテーマ設定から発表までの一連の演習を支援した。
2	母性看護学Ⅱ		1 コマ	看護学科2年次生に対し産後の家族計画演習をカウンセリング技法を取り入れて行った。
3	周産期のケア		6コマ	3年次助産系履修学生を対象に、助産師外来演習（妊娠期の健康診査技術及び保健相談）グループ演習を担当した。演習目標の達成、個々の課題を見出せるように工夫して行った。
4	分娩期のケア		6コマ	3年次助産系履修学生を対象に、原理原則に基づく、基本的な分娩介助技術を習得できるよう、学生の主体的な技術練習を支援した。
5	博士前期課程 リプロダクティブヘルス論		4コマ	文化的多様性を包含したリプダクティブヘルスに関する講義を担当。文献抄読を通して、自身の研究に活かせるよう支援した。
6	大学院博士前期課程 看護学演習（リプロダクティブ）		15コマ	研究課題、研究目的に応じた研究方法について検討、研究計画書の作成を支援した。

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	母性看護学実習		学外実習： 2024.5～2024.6	3年次生看護学科学生を対象に受け持ち事例を通して褥婦および新生児とその家族を理解し、看護計画立案、実践・評価について助言・支援を行った。生殖に関するヘルスプロモーションの実習 では多様性、多文化共生について地域NPO法人の協力を得て、外国人集住地域での実習を新規施開拓して行った。カンファレンスで学生の主体的な学びの促進を支援した。
2	総合実習		学外実習： 2024.7	4年次 2名の学生の実習を担当し、学生自身の実習課題を達成できるように支援を行った。
3	IPW実習		学外実習： 2024.10	科目責任会メンバーとして利根地域を担当した。各施設の教員ファシリテーター協力して報告会の運営を行った。
4	助産学実習Ⅱ		学外実習： 2024.8～2024.9	4年次助産系履修学生を対象とし、2名/施設の学生を担当し、分娩介助実習指導を行った。 臨地実習ではで個々の学生の実習進捗度に合わせ、施設実習指導者と情報共有を図りながら連携協力して分娩介助実習指導を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.5-2025.3	主指導 5名	副指導 0名
2	修士論文	2024.5-2025.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	大学院助産学分野「助産学特論Ⅹ（国際母子保健活動論）」講義担当	国際医療福祉大学大学院助産学分野	諸外国の母子保健の現状を踏まえた助産師活動（2コマ）	2024.6
2	埼玉県看護協会看護の出前講座	狭山経済高校	性教育講演	2024.7
3	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立鴻巣高校	性教育講演	2024.12
4	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立坂戸ろう学園高等部	性教育講演	2025.1
5	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立小川高校（定時制）	性教育講演	2025.2
6	令和6年度文科省委託事業第三国定住難民支援者向け「学び合いの会」講師	（公財）アジア福祉教育財団難民事業本部	「異文化背景を持つ女性の妊娠・出産に関する伝統的慣習について	2024.7
7	埼玉県看護協会研修	埼玉県看護協会	ティーンズが自立した大人になるために看護職が支援できること ～今どきの性教育を学ぼう～	2025.2

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	独立行政法人国際協力機構（JICA）	技術専門員（助産師）	2019.4～現在
2	一般社団法人埼玉県助産師会	理事	2020.5～現在
3	公益社団法人埼日本助産師会	代議員	2023.5～現在
4	一般社団法人日本国際看護学会	理事	2020.11～現在
5	公益社団法人日本母性衛生学会	学会誌「母性衛生」 専任査読委員	2021.4～現在
6	越谷市立病院	経営審議会第2号委員	2024.10～現在
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	国際協力事業	武里日本語教室	日本語教室ボランティア 2023.8-現在に至る
2	地域貢献活動	埼玉県立大学オープンカレッジ	ユースクリニック企画・運営 2023.9-現在に至る
3	地域貢献活動	日本国際看護学会第8回学術集会	一般演題座長 2024.10.
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究倫理委員会	2024.4-現在に至る
2	学長指定プロジェクトへの関与	プロジェクト 2023- 1 多文化共生社会における外国にルーツを持つ子育て世代への包括支援推進のための実践研究 一健やかな妊娠・出産・子育て期を目指した文化に配慮した「やさしい日本語」研修プログラム開発ー	2023.4-2025.3
3	学生支援	サークルLUNA顧問 学内トイレへの生理用ナプキン配備活動、大学祭にてユースクリニック開催	2023.5～現在
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		